

三重大学では7,000人を越える学生が学んでいます。彼らはどのようなきっかけで現在の分野を志し、三重大学への進学を目指したのでしょうか。現役三重大学生にインタビューする大人気企画の第三弾!

# 私はこうして三重大学へ入学した ～現役三重大学生へ聞く、過去・現在・未来～



**人文学部**  
東アジアの歴史を学ぶ



文化学科 2年 菊入 奨平

アジア オセアニア文化コース資料室にて。来年から研究でこの部屋を使う予定です。

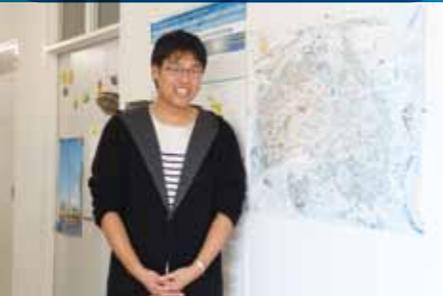
**きっかけ**  
愛知県の自宅から通える圏内であること、多彩なことが学べると思ったので、三重大学を選びました。文化学科は国・地域ごとに4つのコースがありますが、コースに分かれるのは2年生からです。大学で学びたい分野は「歴史」と決まっていたのですが、どこの地域の歴史を、というところが漠然としていました。他大学では入学の時点でどこの地域の歴史を学ぶのか決めないといけないところが多く、入学してからの選択の幅が広い三重大学にしました。

**入学してみても**  
先生方にも専門分野があるので、分野ごとの先生に限られているのでは最初とは思いましたが、それぞれの先生が幅広い分野に詳しいと感じました。歴史が専門の先生でもその国・地域のことなら基本的には見てくれるし、学生の研究したいことに合わせてくれる先生が多いと思います。  
また、三重大学を選んだきっかけでもありますが、2年生からコースに分かれ、3年生からゼミを決めるので、だんだん自分の興味を絞り込んでいけるのがいいと思いました。1年間学んで、中国と日本の歴史上の繋がりに興味を持ち、アジア・オセアニア研究のコースを選択しました。中国史を専門にされている酒井先生の授業が面白かったことも理由の一つです。研究テーマはまだ決めていませんが、16～18世紀ごろの東アジアの歴史をテーマにしたいと思っています。

**学生自治会の活動**  
サークルではなく、人文学部の学生自治会に入っています。各ゼミでどうしているかまよめた「研究室紹介冊子」を制作したり、人文学部のオープンキャンパスや新入生歓迎会を企画したりしています。  
中学、高校時代から生徒会活動をずっとやってきたので、その延長のような感覚で自然に始めました。遠方からの通学なので時間は限られていますが、無理なく続けられています。

**★三重大学を目指す皆さんへ!**  
3年間の高校生活を楽しんでください!受験勉強も大切ですが、高校生のうちは大学に入ってからこのことを考えるより、高校でしかできないことを考えてほしいと思います。

**教育学部**  
褒めるだけでなく上手に叱ることのできる教師を目指して



教育学部社会科教育コース 2年 森木 馨五

地理ゼミ教室前にて

**きっかけ**  
三重大学が第一志望でした。中学校の時から教師になりたいと思っていて、志望校を決める際に、都会に行くのにも憧れましたが、三重県が好きで、県内で就職することを考えた時に、地元で強い三重大学の方が良いと思い、三重大学教育学部を受験しました。私立大学は受験せずに三重大学一本で臨みました。  
教師を目指したきっかけは、尊敬する先生がいたこと、身近なところで荒れている友達を何とかできればいいと思ったことや、文化祭や合唱コンクールでクラスが一致団結するのが楽しかったからです。

**入学してみても**  
模試やオープンキャンパスで何回も来ていましたが、キャンパスがとても広いと感じました。  
小学校から社会が好きで、中学校・高校で地理が好きな先生と巡り会えたことがきっかけで、さらに地理に興味を持ちました。社会科教育コースでも地理を専攻しています。先生方と一緒に調査や合宿に行ったりするので、思っていたより先生方との距離感が近かったことに驚きました。今後は、水文学(すいもんがく)をやりたいと思います。県内外の民家の井戸水や川の水を広範囲で採取して、水の中に溶け込んでいる成分を調べて水質から地域性を調査します。

**サークル活動**  
中学校・高校とソフトテニスをしていたので、ソフトテニスのサークルに入りました。県内の大学・短大の学生や社会人の方々と練習や試合をするので、交流ができて楽しいです。  
**将来は**  
小学校の教師になりたいと思っています。将来に向けて塾の講師や学童保育の指導員のアルバイトをしています。教員採用試験に備えてピアノの練習や不得手な水泳の練習にも励んでいます。なりたい教師像は、生徒と仲良くなるばかりでなく、叱るのも上手な教師、褒めるのはプラスに働ける先生です。

**★三重大学を目指す皆さんへ!**  
受験勉強は、とにかく基本を大事にして理解を深める。そのためにも単語と古文は毎日欠かさずやりましょう。合格は通過点なので、その先を見て頑張ってください!と思います。大学に入学したら、良くも悪くも自分次第なので、是非とも自分から行動してほしいです。学問としての勉強も大事ですが、学生時代ならではの時間を有効に使うために旅行に行ったりして経験や価値観を増やしてほしいと思います。

**医学部・医学科**  
患者さんを支えられる医師に!



医学科 4年 北村 あやめ

基礎医学教室前にて

**きっかけ**  
身近に医療関係の仕事をしている人がおり、将来は医療に携わりたいたずっと思っていました。看護師への憧れもありましたが、入院時や通院時にお世話になった医師への憧れがあったこと、医療の中心となるのは医師であることから医学科を志望しました。  
三重県出身なので地元で学べるということ、三重大学は医学部を含め1つのキャンパスに集まっています他学部の学生と交流ができることに惹かれ、三重大学を選びました。

**サークル活動**  
医療系団体の「きゅうめい部」に所属していて、2年生の終わりから3年生にかけて副部長を務めていました。津市内の中学校や、三重大学の学祭、医学部オープンキャンパス等においてBLS(一次救命処置)の講習会を開き、心肺蘇生法やAEDの使用法についての実技指導を行っています。一般の方に緊急時に対応できる知識を身に付けてもらうことも目的の一つですが、きゅうめい部の部員にとっても、自分たちが勉強した知識を相手に伝えるプレゼンテーションの練習にもなっています。医療系の団体ですが、医学部以外の学生も多く在籍していて、交友関係がとても広がりました。

**将来は**  
ただ病気を治すだけでなく、患者さんのご家族や住んでいる地域まで目を向け、広い意味で患者さんのサポートを行える医師になりたいです。そしていつか地元である三重県の医療に携わりたいと思っています。  
診療科の選択はこれからの臨床実習を通して考えていきますが、この4年生の夏に実習で訪れた病院での総合診療科医師の働きがとてもかっこよく、総合診療の分野も選択肢の一つとして考えています。

**★三重大学を目指す皆さんへ!**  
勉強方法についての情報がたくさんあり、迷うこともあるかもしれませんが、自分に合う勉強方法で勉強を続けたいと上手に上手にしたいです。医学科は忙しいと思われるかもしれませんが、部活やサークル活動も楽しめ、アルバイトも出来ます。辛くならぬ大学入学後の生活をイメージし、やる気に変えて頑張ってください!

**医学部・看護学科**  
信頼される助産師になりたい!



看護学科 3年 鈴木 有里奈

三重大学のモニュメント前にて

**きっかけ**  
中学校2年生の時から助産師になりたいと思っていました。三重大学には4年間で助産師になれるコースがあるということ、大病院が隣にあるので実習の時にすぐに病院に行けるということから三重大学を選びました。

**サークル活動**  
「ぞくよん」というサークルに入っています。三重大学医学部附属病院の小児病棟に入院している子どもたちと一緒に遊んだり、夏祭りをしたりするサークルです。例えば、色紙に自分の好きなシールを貼ったり、餃子の皮でピザを作って一緒に食べたりしています。小さい子が好きで一緒に遊べたらいいなと思って入りました。  
活動日は決まっていますが、月に数回行って、メンバーは50人以上います。小児科の子どもたちがすごく可愛くても癒されています。病気で闘っているにも関わらず、遊んでいる子どもたちはすごく楽しそう、その姿を見るとやっとなんかいいなと思います。

**将来は**  
現在は看護師資格取得のために実習中で、患者さんの個別性を重視して入院中も退院後もその人らしい生活が送れるようなケアを先生や看護師さんと一緒に考えています。三重大学の先生方は学生の夢を全力で応援してください。将来的には信頼される助産師になりたいと思っています。中学2年生の時に職場体験学習で、産婦人科に行き、そこで初めて助産師という仕事に出会いました。命が誕生する場面にも関わること、赤ちゃんと触れ合えることができ、素敵な仕事だなと思い、助産師を志すようになりました。赤ちゃんが誕生するという素敵な場面に関わらせてもらえるのはとてもありがたいことである反面、責任も大きいと思います。そして出産はどの方も大きな不安を抱えています。その不安を少しでも取り除き、お母さんとその家族を支えていけるような援助ができるようになったらと考えています。

**★三重大学を目指す皆さんへ!**  
高校の時は部活や体育祭、文化祭など行事に熱中し十分に楽しんでください。そして勉強ばかりするのは大変だと思うので、時には遊ぶなどメリハリをつけて頑張ってください。また、大学ではバイトや旅行、部活など自分がしたいことを色々出来る場所です。それを楽しみに受験勉強に励んでもらうのもいいと思います。いつかみなさんと三重大学で学べることを楽しみにしています!

**工学部**  
自分の好きな事を仕事にして、自己実現をしたい



建築学科 2年 竹本 調

建築学科製図室にて

**きっかけ**  
小さい時から絵を描くことが大好きで、高校生の時からデッサンの教室に通っていました。静物デッサンを描くのが好きで得意分野でした。自分の強みはデッサンなので、後期日程の試験で実技試験がある三重大学工学部建築学科\*を受験しました。自信をもって受験することができました。

**入学してみても**  
建築学科は、他の学科に比べて40人と少人数で、先生方と学生間のつながりも強いです。先生の指導は厳しいですが、学生と同じ目線でアドバイスをいただけるので相談しやすい環境です。  
講義で出される課題は、学年によって様々ですが、1年生では有名建築を1つ選び、その建築について理解を深めるために模型を作ったり、CADで図面を作り出します。2年生では自分で考えて設計したものを模型として作り上げていきます。課題と聞くが大変そうだと思うのですが、自分が想像した形が徐々に出来上がっていく楽しさと、思考錯誤しながらより良い物を作る過程が好きです。そして完成した時の達成感を味わうことができるので、課題をやるのが楽しいです。課題の提出真近になると徹夜で作業することもあります。建築学科の先輩からアドバイスをもらったり、同級生で意見を出し合ったりと作品作りに意欲が湧き、楽しみながら作成しています。だからこそ、建築学科は学年を超えても仲が良いです。  
また、建築学科では、学生がいつでも利用できる製図室や図書室があり、自分の好きなことが好きなだけできる環境が整っています。

**将来は**  
大学院への進学は未定ですが、モノづくりなどの建築の分野で楽しんでできるような仕事につきたいと思っています。クライアントの要望に合わせた設計に携わりたい。特に住宅設計を手掛けてみたいと思っています。

**★三重大学を目指す皆さんへ!**  
大学に入ったら高校の時と違って自分の好きなことに熱中できるので、受験期は不安なことが多いと思いますが、自分を信じて頑張ってください。  
デッサン教室で学んだことは試験だけでなく、大学の授業でも役立ちました。学校の美術の先生に指導を受けるのも良いと思います。

\*31.1.1から建築学科は建築学コースとなります。

**生物資源学部**  
好きなことを学ぶ



生物圏生命科学科(現・生物圏生命化学科) 3年 野嶋 駿

生物資源学部棟前にて。春には桜が綺麗です。

**きっかけ**  
小学生の頃から特に海の生き物が好きでした。大学では自分の好きなことを学びたいと思ったので、海洋について深く学べる生物圏生命科学科を目指しました。  
他にも海洋について学べる学科のある大学がありますが、東海の国公立大学では三重大学が唯一だと思っています。実家のある静岡から比較的近いこともあって三重大学を選びました。

**入学してみても**  
とにかく海のことを学びたくて三重大学に入学しましたが、大学に入ってから学ぶ中で研究の内容や就職を意識するようになり、興味の方向が変わってしまいました。  
所属している研究室は海洋微生物研究室といって、海洋微生物等を扱ってはいますが、主に食品の微生物を殺したりして制御する研究をしています。今は同じ研究室の先輩に教えてもらいながら研究を手伝っていますが、もうすぐ自分の研究テーマを与えられる予定です。すでに自分の研究を進めている先輩の姿を見ていて、難しそう、大変そうだなと思いつつも、研究でいい結果が出たらいいなと楽しみでもあります。

**将来は**  
将来についてイメージのないまま大学に来てしまったので不安でしたが、色々な先生の講義を受けたり、研究の話聞くうちに「研究がしたい」と思うようになりました。特にきっかけになったのは2～3年にかけてある「マリンバイオテクノロジー実験」という講義です。数人の先生が交代で、それぞれの専門分野の研究内容を用いた実験を指導してくれる講義で、自分が実験が好きだということ、研究できる時間が一番楽しいということに気づきました。  
大学院に進学するつもりなので、まだ具体的には考えていませんが、将来は企業に入って研究を続けられたらと思っています。就職活動をするまでの間にもっと詳しくやりたいことを決めていきたいと思っています。

**★三重大学を目指す皆さんへ!**  
自分の好きなことを学べるのが大学の魅力だと思います。自分自身も海の生き物が好きという単純な理由で生物圏生命科学科を目指しました。  
自分の好きなことを学ぶ内容や仕事にできたら幸せだと思うので、それを実現できるように頑張ろうと思えば、受験勉強のモチベーションが上がるのではないかと思います。